

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成17年4月18日		記入者		内線	3222
部 名	土木部	課 名	道路管理課	課長名	淡野浩	
事務事業名	道路境界(台帳)整備事業					
予算上の事務事業名	道路境界整備事業					
1 総合計画における位置づけ	施策コード		32320			
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政 策 名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第3節 円滑な道路交通の確保				事業開始年度	
施 策 名	第2施策 道路管理の充実				平成7年度	
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
道路法第28条						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次	年度～	年度				
4 事業形態の区分		維持・管理・補修				
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
道路管理者は、法の定めにより道路台帳を備え、閲覧に供する義務を負うが、道路台帳図に転記・補正すべき道路(開発道路や寄附道路)が年ごとに残積していくため、これらを整備して、道路台帳図閲覧や道路境界証明、道路幅員証明に供している。				市が整備した道路(改良道路、狭あい道路)開発行為による帰属された道路		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
道路境界整備業務委託は、整備区域を市内6区画に設定し、順次台帳整備を行なっている。整備地域は、上溝1丁目～上溝6丁目、上溝7丁目、田名、上溝の各一部です。請負方法は、指名競争入札で測量業者に発注している。 (業務名)道路境界整備業務委託(その1) 契約金額38,325,000円 路線延長 6,374m 道路境界整備業務委託(その2) 契約金額10,080,000円 路線延長 3,754m						
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	68,775	77,700	48,405	60,000	60,000	
一般財源	68,775	77,700	48,405	60,000	60,000	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	11,971	13,657	9,030	9,724	9,724	
事業コスト合計(a)	80,746	91,357	57,435	69,724	69,724	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	道路境界(台帳)整備事業			対象名称(単位)	路線延長(m)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	80,746	91,357	57,435	69,724	69,724	
対象数	13,290	15,907	10,128	11,000	11,000	
単位あたり経費(円)	6,076	5,743	5,671	6,339	6,339	
前年度比		0.95	0.99	1.12	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	路線延長（計画延長）	指標式と指標の説明	路線延長（実施延長m）		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	13,290.0	15,907.0	10,128.0		
目標	18,746.0	16,143.0	10,128.0	11,000.0	11,000.0
目標達成度	0.71	0.99	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	道路台帳整備実施率(%)	指標式と指標の説明	実施延長／認定総延長 道路台帳整備実施割合		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	13290.0	15907.0	10128.0		
目標	14136.0	16799.0	10128.0	11000.0	11000.0
目標達成度	94.0	94.7	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		本来、台帳は、リアルタイムで整備することが、望ましいが、6年1サイクルで行っている事業を変更するのは最初の1年事務が膨大となり、当面現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
市が整備した道路（改良道路、狭あい道路）開発行為による道路に対する、道路境界点の資料整理、データの点検、成果品の活用			道路境界（市）提案位置が関係地権者の承諾が得られなかった時。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			